



2010.7.13

山口大学病院 薬剤部 DIセンター

( 22-2668 )

## 「効能・効果」、「用法・用量」追加、変更等のお知らせ

**レミケード点滴静注用 100mg(一般名:インフリキシマブ(遺伝子組換え)) <抗TNF モノクローナル抗体>**

【効能・効果】中等度から重症の潰瘍性大腸炎の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る)

【用法・用量】1回 5mg/kg を点滴静注初回投与後 2 週、6 週に投与し、以降 8 週間の間隔で投与  
**タケブロン OD錠 15mg、30mg(一般名:ランソプラゾール) <プロトンポンプインヒビター>**

**バリエット錠 10mg(一般名:ラベプラゾールナトリウム) <プロトンポンプインヒビター>**

**オメプラール錠 10・20mg(一般名:オメプラゾールナトリウム) <プロトンポンプインヒビター>**

**フラジール内用錠(一般名:メトロニダゾール) <抗トリコモナス剤>**

**クラリシッド錠 200mg(一般名:クラリスロマイシン) <マクロライド系抗生物質>**

**サワシリンカプセル 250mg(一般名:アモキシシリン) <合成ペニシリン製剤>**

【効能・効果】胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリの除菌補助

**ゾビラックス錠 200mg(一般名:アシクロビル) <抗ウイルス化学療法剤>**

【効能・効果】小児：性器ヘルペスの再発抑制

【用法・用量】1) 単純疱疹 20mg/kg

2) 造血幹細胞移植における単純ヘルペス感染症(単純疱疹)発症抑制 20mg/kg 1日 4回移植前 7 日前～施行後 35 日

3) 帯状疱疹 20mg/kg 1日 4回

4) 性器ヘルペスの再発抑制(40kg 以上に限る)

1) 2) 4) 最高 200mg 3) 最高 800mg 適宜増減

**ビクロックス点滴静注 250mg(一般名:アシクロビル) <抗ウイルス化学療法剤>**

【効能・効果】新生児単純ヘルペスウイルス感染症

【用法・用量】<単純ヘルペスウイルス及び水痘・帯状疱疹ウイルスに起因する下記感染症(免疫機能の低下した患者に発症した単純疱疹・水痘・帯状疱疹、脳炎・髄膜炎)>

小児：5mg/kg を 1日 3回、8時間毎に 1時間以上かけて、7日間点滴静注。必要に応じて増量可。上限は 1回 20mg/kg。脳炎、髄膜炎においては投与期間の延長可。

<新生児単純ヘルペスウイルス感染症>

10mg/kg を 1日 3回、8時間毎に 1時間以上かけて、10日間点滴静注。必要に応じて投与期間延長もしくは増量可。上限は 20mg/kg。

## ラベル仕様変更のお知らせ

**エンブレル皮下注 25mg シリンジ 0.5mL(一般名:エタネルセプト)のラベル変更について**

【シリンジラベルの変更】

・シリンジ先端部分の視野向上、注射時の薬液注入を確認しやすくするため、ラベルの印刷部位を縮小、透明部分を拡大。

【組箱の変更】

・組箱記載の貯法に「遮光保存」を追記。

## 投薬期間制限解除のお知らせ

クラビット錠 500mg(一般名:レボフロキサシン) <広範囲経口抗菌製剤>

2010年6月末日までは1回14日分を限度として投薬期間が設けられていましたが、  
2010年7月1日より投薬期間が解除されます。

## 取り違え注意のお知らせ

メテルギン(一般名:メチルエルゴメトリンマレイン酸塩)とウテメリン(一般名:リトドリン塩酸塩)の取り違え  
について

正反対の作用を持つ薬剤(メテルギン:子宮収縮作用、ウテメリン:子宮収縮抑制作用)であるため、  
薬剤をご使用いただく場合には取り違えによる医療事故に十分ご注意ください。

Drug Safety Update No.190 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 : 最重要 : 重要 無印: その他

成分名(薬品名)	主な改訂内容
アロピド <sup>®</sup> (ラシックス錠、ラシックス注)	<p>重大な副作用: 中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、多形紅斑があらわれることあり、このような場合投与中止、適切な処置。</p> <p>併用注意: V<sub>2</sub>-受容体拮抗剤(テルパゾル塩酸塩) 臨床症状・措置方法: 利尿作用増強。血圧、脈拍数、尿量、血清ナトリウム濃度等を頻回チェックし、脱水症状に注意。 機序・危険因子: 利尿作用増強。</p>
オキシトシン (アトニン-0 注) ジノプロスト (プロスタルギンF注射液) ジノプロスト (プロスタグランジンE 錠)	<p>警告: 母体及び胎児の状態を十分観察。 重要な基本的注意: 薬剤使用の有無によらず、分娩時に母体の生命を脅かす緊急状態(子宮破裂、羊水塞栓、脳内出血、くも膜下出血、常位胎盤早期剥離、子癇、分娩時大量出血等)が起こることがあるため、分娩誘発、微弱陣痛の治療には、分娩監視装置を用いた分娩監視、定期的にバイタルサインのモニターを行うなど、患者の状態を十分に観察、異常が認められた場合、適切な処置。</p>
オキシトシン (アトニン-0 注)	<p>警告: 分娩誘発、微弱陣痛の治療の必要性及び危険性を十分説明、同意を得て使用。 用法・用量に関連する使用上の注意: 精密持続点滴装置を用いて投与。</p>
ジノプロスト (プロスタルギンF注射液) ジノプロスト (プロスタグランジンE 錠)	<p>警告: 陣痛誘発、陣痛促進の必要性及び危険性を十分説明、同意を得て使用。</p>
ジノプロスト (プロスタルギンF注射液)	<p>警告: 分娩促進の必要性及び危険性を十分説明、同意を得て使用。 用法・用量に関連する使用上の注意: 陣痛誘発、陣痛促進、分娩促進の目的で投与する際、精密持続点滴装置を用いて投与。</p>
コルヒチン (コルヒチン錠)	<p>禁忌: 肝臓又は腎臓に障害のある患者で、CYP3A4 を強く阻害する薬剤又はP糖蛋白を阻害する薬剤を服用中の患者〔血中濃度が上昇するおそれがある。〕 用法・用量に関連する使用上の注意: 投与量の増加に伴い下痢等の胃腸障害の発現が増加、痛風発作緩解には、1日1.8mgまで慎重投与: 肝障害のある患者〔投与する場合、ごく少量から開始。〕 重要な基本的注意: 1日量は1.8mgまで 相互作用: 本剤はCYP3A4によって代謝され、P糖蛋白の基質でもある。 併用注意: CYP3A4を阻害する薬剤 強く阻害する薬剤(アザゼル、インゼル、イトコザール、ルフィバール、リゼル、サゼル、テラゾール)</p>

	<p>中等度阻害する薬剤(アンブレピル、アブレピタト、シルチアゼム、フルコザール、ホスアンブレピル、ペラミル)</p> <p>臨床症状・措置方法：本剤の作用増強。併用する場合は減量あるいは低用量から開始するなど注意。肝臓又は腎臓に障害のある患者にはCYP3A4を強く阻害する薬剤は投与しないこと。</p> <p>機序・危険因子：CYP3A4阻害により、本剤の血中濃度上昇。</p> <p>P糖蛋白を阻害する薬剤(シロホリン)</p> <p>臨床症状・措置方法：本剤の作用増強。併用する場合は減量あるいは低用量から開始するなど注意。肝臓又は腎臓に障害のある患者には投与しないこと。</p> <p>機序・危険因子：P糖蛋白活性を阻害により、血中濃度上昇。</p> <p>その他の注意：海外臨床試験において、コルチ低用量(1.8mg/日)群と高用量(4.8mg/日)群の疼痛発作の有効性に差はなかった。高用量群の方が下痢等の胃腸系有害事象の発現は高かった。</p>
ミルガピン (レモン錠)	<p>重大な副作用：皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、多形紅斑が認められた場合 投与中止、適切な処置。</p> <p>その他の副作用：消化器...口腔浮腫 皮膚...水疱</p>
エホジピン塩酸塩イソノール付加物 (ラデル錠)	<p>重要な基本的注意：過度の血圧低下を起こすことがあり、そのような場合、減量又は休薬など適切な処置。</p> <p>重要な副作用：ショック...過度の血圧低下によりショックをおこすことがあり、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p> <p>その他の副作用：血圧低下</p>
エチチミブ (セチア錠)	<p>その他の副作用：精神神経系...抑うつ、錯感覚 消化器...胃炎、口内乾燥 循環器...胸痛、ほてり 筋肉...背部痛、四肢痛、筋力低下、筋痙縮 皮膚...多形紅斑 その他...咳嗽、無力症、疼痛</p>
イントマシナトリウム (インダシ静注用)	<p>その他の副作用：肝臓...肝機能異常(AST(GOT)上昇、ALT(GPT)上昇) その他...黄疸</p>
ファモチジン (ガスター-D錠) (ガスター-注)	<p>重大な副作用：血小板減少</p>
ファモチジン(経口剤) (ガスター-D錠)	<p>その他の副作用：精神神経系...めまい</p>
インフリクマブ(遺伝子組換え) (レキート点滴静注用)	<p>警告：強直性脊椎炎では、治療前に、既存治療薬(非ステロイド性抗炎症剤等)の使用を十分勘案。十分な知識と強直性脊椎炎の診断及び治療の経験をもつ医師が使用すること。</p> <p>効能・効果に関連する使用上の注意： 強直性脊椎炎 過去の治療において、他の薬物療法(非ステロイド性抗炎症剤等)等の治療を行っても、明らかな臨床症状が残る場合に投与。</p>
精製下垂体性性腺刺激ホルモン (フォルモンP注) ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン (HMG注タイプ-) ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン (ゴナトリン注用 5000単位) フォリトリンベータ(遺伝子組換え) (フォリスチム注) ルゲストレル・イチニルエストラジオール (プラバール配合錠) クロミフェン酸塩 (クロミット錠) エストリオール(膣錠) (ホーリンV膣用錠)	<p>禁忌：エストロゲン依存性悪性腫瘍(例：乳癌、子宮内膜癌)及びその疑いのある患者〔腫瘍の悪化あるいは顕性を促すことがある。〕</p> <p>慎重投与：子宮筋腫のある患者〔子宮筋腫の発育を促すおそれがある。〕 子宮内膜症のある患者〔症状が増悪するおそれがある。〕 乳癌の既往歴のある患者〔乳癌が再発するおそれがある。〕 乳癌家族素因が強い患者、乳房結節のある患者、乳腺症の患者又は乳房レントゲン像に異常がみられた患者〔症状が増悪するおそれがある。〕</p>

ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン (ゴナドリン注用 5000 単位) ルゲストレル・エチルエストラジオール (プラーバル配合錠) エストリオール(腔錠) (ホリンV腔用錠) テストステロンエナント酸エステル (エナルモンテホ-注)	小児等への投与：骨成長が終了していない可能性がある患者には慎重投与。
エストリオール(腔錠) (ホリンV腔用錠)	小児等への投与：思春期前の患者には慎重投与。〔骨端の早期閉鎖、性的早熟を来すおそれがある。〕
ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン (ゴナドリン注用 5000 単位)	禁忌：アンドロゲン依存性悪性腫瘍(例：前立腺癌) 慎重投与：エストロゲン依存性悪性腫瘍(例：乳癌、子宮内膜癌)及びその疑いのある患者〔腫瘍の悪化あるいは顕性を促すことがある。〕
マロリン(遺伝子組換え) (ルゲイトリンS製剤) (ルゲイトリンS注)	適応上の注意：専用の医薬品ペン型注入器(ルゲイペン10)
デスモプレシン酢酸塩水和物 (液剤) (中枢性尿崩症の効能を有する製剤) (デスプレシン点鼻液・スプレー 2.5)	重要な基本的注意：投与中は血清ナトリウム値に十分注意。
デスモプレシン酢酸塩水和物 (液剤) (夜尿症の効能を有する製剤) (デスプレシン・スプレー 10)	禁忌：低ナトリウム血症の患者〔低ナトリウム血症を増悪させるおそれがある。〕
テストステロンエナント酸エステル (エナルモンテホ-注) ルゲストレル・エチルエストラジオール (プラーバル配合錠)	慎重投与：骨成長が終了していない可能性がある患者。
アレントロン酸ナトリウム水和物 (経口剤) (ホナロ錠 35mg) エフトロン酸二ナトリウム (ダイトロ錠) リセトロン酸ナトリウム水和物 (アクトル錠 17.5mg) (ヘネット錠 2.5mg) ミルトロン酸水和物 (リカルボン錠 1mg) ゾレトロン酸水和物 (ゾマ点滴静注用)	重要な基本的注意：投与経路によらず顎骨壊死・顎骨骨髓炎があらわれることがある。症例の多くが抜歯等の歯科処置や局所感染に関連して発現している。適切な歯科検査を受け、抜歯等の顎骨に対する侵襲的な歯科処置を投与前に済ませるよう指示、投与中は歯科で口腔内管理を定期的に行い、抜歯等の顎骨に対する侵襲的な歯科処置はできるだけ避けるよう指示。 口腔内を清潔に保つことや歯科受診時に使用を歯科医師に告知するなど患者に十分な説明を行う。
アレントロン酸ナトリウム水和物 (経口剤) (ホナロ錠 35mg) エフトロン酸二ナトリウム (ダイトロ錠) リセトロン酸ナトリウム水和物 (アクトル錠 17.5mg) (ヘネット錠 2.5mg) ミルトロン酸水和物 (リカルボン錠 1mg)	重要な基本的注意：ビスホスホネート系薬剤を長期使用している患者において、非外傷性の大腿骨転子下及び近位大腿骨骨幹部のストレス骨折が発現したとの報告があるので、X線検査時を実施し、十分に観察、慎重投与。 この骨折では、X線検査時に骨皮質の肥厚等、特徴的な画像所見がみられ、完全骨折が起こる数週間から数ヵ月前に、罹患部位の前駆痛があるため、適切な処置を行うこと。 両側性の骨折が生じる可能性があり、片側で骨折が起きた場合、他方の大腿骨の画像検査を行うこと。
ミルトロン酸水和物 (リカルボン錠 1mg)	その他の副作用：顔面浮腫
リセトロン酸ナトリウム水和物(2.5mg) (ヘネット錠 2.5mg)	その他の副作用：BUN 増加、血中アルカリホスファターゼ 減少
ゾレトロン酸水和物 (ゾマ点滴静注用)	その他の副作用：眼...強膜炎、眼窩の炎症(眼窩 浮腫、眼窩蜂巣炎等)

<p>イソトロン酸二ナトリウム (タートロネ錠)</p>	<p>効能・効果に関する使用上の注意： 骨粗鬆症の場合 日本骨代謝学会の診断基準等を参考に確定診断された患者を対象とすること。 骨代謝性骨病の場合 日本骨粗鬆症学会の「骨 Paget 病の診断と治療ガイドライン」等を参考に確定診断された患者を対象とすること。 重要な基本的注意： 骨粗鬆症の場合 発症にはエストロゲン欠乏、加齢以外の要因が関与していることもあるので、治療に際して考慮する必要がある。 重大な副作用：ビリルビン上昇等を伴う肝機能障害や黄疸があらわれることがある。 その他の副作用：肝臓...ビリルビン上昇</p>
<p>エポソリンアルファ(遺伝子組換え) (エポソリン皮下用・シリンジ)  ダルベポエポソリンアルファ (遺伝子組換え) (点滴静注用) エポソリンアルファ(遺伝子組換え) (エポソリン点滴静注用)</p>	<p>その他の注意：保存期慢性腎臓病患者における腎性貧血に対する治療 心不全や虚血性心疾患を合併する血液透析患者において、目標ヘモグロビン濃度を 14g/dL(ヘマトクリット値 42%)に維持した群では、10g/dL(ヘマトクリット値 30%)前後に維持した群に比べ死亡率が高い傾向が示されたとの報告がある。 2 型糖尿病で腎性貧血を合併している保存期慢性腎臓病患者において、目標ヘモグロビン濃度を 13.0g/dL に設定して赤血球造血刺激因子製剤が投与された患者とプレポエポが投与された患者(ヘモグロビン濃度が 9.0g/dL を下回った場合に赤血球造血刺激因子製剤を投与)を比較したところ、赤血球造血刺激因子製剤群では有意に脳卒中の発現頻度が高いことが示されたとの報告がある。 放射線療法による貧血患者に赤血球造血刺激因子製剤を投与することにより、腫瘍進展又は局所再発のリスクが増加したとの報告がある。</p>
<p>アストゾール (アリミテックス錠)</p>	<p>その他の副作用：筋・骨格筋...関節炎、骨痛、弾発指</p>
<p>タモキシフェン酸塩 (ルバルテックス錠)</p>	<p>重大な副作用：無顆粒球症、好中球減少 異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置。 併用注意：SSRI(パロチン等) 臨床症状・措置方法：併用により乳癌による死亡リスクが増加したとの報告がある。</p>
<p>クラブロン酸カリウム・アモキシシリン水和物 (オグメンチン配合錠)</p>	<p>併用注意：ワファリン 臨床症状・措置方法：プロトロン時間延長(INR 上昇)が報告されている。ワファリン投与中に投与開始又は投与中止する場合、血液凝固能検査等に注意、ワファリンの投与量を調節するなど適切な処置。 機序・危険因子：腸内細菌によるビタミンKの産生抑制、ワファリンの作用増加の可能性があると考えられているが、作用機序は不明。</p>
<p>ミサイクリン塩酸塩(経口剤) (ミマイシン顆粒・錠)</p>	<p>併用注意：ワファリン</p>
<p>ミサイクリン塩酸塩 (経口剤)(注射剤) (ミマイシン顆粒・錠) (ミサイクリン塩酸塩点滴静注用)</p>	<p>その他の副作用：感覚器...耳鳴 その他の注意：海外において、投与中の患者に甲状腺癌が発現したとの報告があるが、本剤との因果関係は確立していない。</p>
<p>バシキシマブ(遺伝子組換え) (シムレク静注用)</p>	<p>重要な基本的注意：ヒトトランスフェリンの製造にフランスで採血したヒト血液を用いているが、本剤の投与により伝達性海綿状脳症(TSE)がヒトに伝播したとの報告はなく、TSEに関する理論的なリスク評価値は、一定の安全性を確保する目安に達しており、本剤による TSE 伝播のリスクは極めて低い。</p>

1. 新規常備医薬品 (合計 12 品目)

平成 22 年 7 月 1 日 (木) よりオーダ開始

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
イメト <sup>®</sup>	Cap	80mg 125mg	3,263.8 4,774.7	小野	Aprepitant 選択的 NK1 受容体拮抗型制吐剤 米国腫瘍学会 (ASCO)、米国国立包括癌ネットワーク (NCCN) 国際癌支持療法学会 (MASCC) 等が公表する制吐療法 ガイドライン推奨薬 シプ <sup>®</sup> ラチン誘発による急性及び遅発性嘔吐反応抑制 アポ <sup>®</sup> モルヒネ並びにモルヒネ誘発による中枢性嘔吐反応抑制 デ <sup>®</sup> キマタゾ <sup>®</sup> 、5HT <sub>3</sub> 受容体拮抗型制吐剤との併用により、 優れた制吐作用 【発売：2009.12.11】
外 <sup>®</sup> キチン皮下 注キット	注	2000IU /0.2mL	1,036	サファイア <sup>®</sup> アベン ティス	Enoxaparin sodium 血液凝固阻剤 半減期 3.2 時間と短いため、有害事象への迅速な対応 可能 ヘパ <sup>®</sup> リン製剤であるため、過量投与の中和剤あり 【発売：2008.4.24】
タイケルバ <sup>®</sup>	錠	250mg	1,620.7	グ <sup>®</sup> ラク スミ クライン	Lapatinib tosilate hydrate 抗悪性腫瘍剤 (乳癌) チロ <sup>®</sup> シキナーゼ <sup>®</sup> 阻害剤 HER2 過剰発現が確認された手術不能又は再発乳癌治 療薬 EGFR, HER2 の両方に対して強力かつ選択的な可逆的 阻害作用 腫瘍細胞増殖抑制 カ <sup>®</sup> シタ <sup>®</sup> (商品名: セ <sup>®</sup> ロ <sup>®</sup> ダ <sup>®</sup> ) と併用 全例調査対象 【発売：2009.6.19】
ヴァ <sup>®</sup> ニク リン	錠	0.5mg 1mg	132.6 237.4	ヴァ <sup>®</sup> イ ザ <sup>®</sup> -	Varenicline Tartrate 禁煙補助薬 (ニコチン不使用) α <sub>4</sub> β <sub>2</sub> ニコチン受容体部分作動薬 (新規薬理作用) ニコチンの結合を阻害しニコチンの作用遮断 喫煙による満足感を抑える ニコチン受容体に部分的に刺激作用 禁煙に伴う離脱症状 (ニコチン依存 症)、たばこに対する切望感軽減 保険算定可能 (禁煙外来) 【発売：2008.5.8】
ニコチン TTS	貼付	10cm <sup>2</sup> (17.5mg) 20cm <sup>2</sup> (35mg) 30cm <sup>2</sup> (52.5mg)	343.6 361.7 387.7	ハ <sup>®</sup> ル ティス	Nicotine ニコチン依存症治療剤 禁煙補助薬 喫煙時のレベルを超えない範囲でニ コチン放出 ニコチン離脱症状を軽減 保険算定可能 (禁煙外来) 【発売：1999.5.12】
プレ <sup>®</sup> バ <sup>®</sup> ナ <sup>®</sup> 水 性懸濁皮下 注	注	0.5mL/シリン ジ <sup>®</sup>	-	ワ <sup>®</sup> イ	Pneumococcal polysaccharide conjugate vaccin (absorbed) 肺炎球菌ワクチン 肺炎球菌による侵襲性肺炎球菌疾患 (髄膜炎、菌血 症) に対する予防 乳幼児に対しても有効な T 細胞依存型の免疫反応を 惹起するワクチン 【発売：2010.2.24】

ミヤ BM	細粒	1g/包	6.3/ g	ミヤリッ	Butyric acid bacteria ( 宮入菌 ) 酪酸菌 ( 宮入菌 ) は芽胞として配合 胃酸や消化酵素等の影響を受けない 抗生物質や化学療法剤投与、消化管手術等に伴う腸 内細菌叢の異常に有効 抗菌薬投与時での Clostridium difficile の検出頻 度減少  【発売：1968.10.3】
レモン	錠	15mg	169.3	シエリッ プラ	Mirtazapine ルア <sup>ト</sup> レリ <sup>ン</sup> 作動性・特異的セロ <sup>ト</sup> ン作動性抗うつ剤 ( NaSSA ) シ <sup>ト</sup> ス前 <sup>レ</sup> ア <sup>ト</sup> レリ <sup>ン</sup> 自己受容体及びセロ <sup>ト</sup> ン受容体アンタゴ <sup>ニ</sup> ス ト 脳内でルア <sup>ト</sup> レリ <sup>ン</sup> 及びセロ <sup>ト</sup> ンの遊離促進 抗うつ作用 モ <sup>ノ</sup> アミンの再取り込み阻害作用はない  【発売：2009.9.7】

## 2 . 削除医薬品 ( 合計 1 品目 )

商 品 名	剤 形	規 格	削 除 理 由
ビ <sup>ト</sup> オ <sup>シ</sup> ン配合	散	-	ミヤ BM 細粒採用のため、削除

## その他の抗腫瘍剤

ラパチニブトシル酸塩水和物 lapatinib tosilate hydrate

**タイケルブ** Tykerb

GSK

コード

薬価

錠(劇):250mg

[タイケ02]

1,620.7

【効】HER2 過剰発現が確認された手術不能又は再発乳癌(アントラサイクリン系、タキサン系抗悪性腫瘍剤及びトラスツズマブによる化学療法後の増悪もしくは再発例)

【用】カペシタビンとの併用において、1250mgを1日1回食事の1時間以上前又は食後1時間以降に投与(適宜減量)

【警】緊急時に十分対応できる医療施設で、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで適切症例のみ実施 有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与 重篤な肝機能障害があらわれることあり、死亡に至った例も報告、投与開始前及び投与中は定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分観察 重篤な肝機能障害がみられた場合、投与中止等の適切な処置 間質性肺炎、肺臓炎等の間質性肺疾患があらわれ、死亡に至った例も報告、初期症状(息切れ、呼吸困難、咳嗽、発熱

等)の確認及び胸部 X 線検査の実施等、十分観察異常が認められた場合、投与中止等の適切な処置 添付文書熟読

【禁】本剤成分過敏症 妊娠又はその可能性のある 婦人

【重大な副作用】肝機能障害 間質性肺疾患 心障害 下痢 QT 間隔延長

【備考】チロシンキナーゼ阻害剤



## 抗凝血剤

エノキサパリンナトリウム enoxaparin sodium

<b>クレキサン</b>	Clexane	サノフィ・アベンティス
		コード 薬価

皮下注キット(劇) : 2000 単位/0.2mL [クレキ 61] 1,036

**【効】** 下肢整形外科手術(股関節全置換術、膝関節全置換術、股関節骨折手術)、静脈血栓塞栓症の発症リスクの高い腹部手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制

**【用】** 2000IU を 12 時間毎に 1 日 2 回連日皮下注

**【警】** 脊椎・硬膜外麻酔あるいは腰椎穿刺等との併用により、穿刺部位に血腫が生じ、神経の圧迫による麻痺があらわれるおそれあり 併用する場合、神経障害の徴候及び症状に十分注意、異常が認められた場合、適切な処置

**【禁】** 本剤成分又はヘパリン、ヘパリン誘導体(低分子量ヘパリン等)過敏症 出血している患者(頭蓋内出血、後腹膜出血又は他の重要器官における出血等) 急性細菌性心内膜炎患者 重度の腎障害 (CLcr30mL/min 未満) ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)

**【重大な副作用】** ショック アナフィラキシー様症状 血

## 抗精神病薬 その他の抗うつ剤

ミルタザピン mirtazapine

レメロン Remeron

シェリング・プラウ  
コード 薬価

錠(劇):15mg

[レメ01] 169.3

【効】うつ病・うつ状態

【用】1日15mgを初期用量とし15~30mgを1日1回  
就寝前1日45mgを超えない範囲で適宜増減(1  
週間以上の間隔で15mgずつ増量)【禁】本剤成分過敏症 MAO 阻害剤投与中あるいは  
投与中止後2週間以内【重大な副作用】セロトニン症候群 無顆粒球症 好中  
球減少症 痙攣 肝機能障害 黄疸 抗利尿ホル  
モン不適合分泌症候群(SIADH) 皮膚粘膜眼症候  
群(Stevens-Johnson 症候群) 多形紅斑

【備考】ルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ剤

## 禁煙補助剤

ニコチン nicotine

ニコチネル TTS Nicotinell TTS ノバルティス

コード 薬価

貼付剤:10cm<sup>2</sup>(17.5mg)

[ニコチ41]

343.6

貼付剤:20cm<sup>2</sup>(35mg)

[ニコチ42]

361.7

貼付剤:30cm<sup>2</sup>(52.5mg)

[ニコチ43]

387.7

【効】循環器、呼吸器、消化器、代謝性等の基礎疾患  
を持ち、医師により禁煙が必要と診断された禁煙意  
志の強い喫煙者が、医師指導の下に行う禁煙補助【用】1日1回1枚24時間貼付 最初の4週間は30cm<sup>2</sup>、  
次の2週間は20cm<sup>2</sup>、最後の2週間は10cm<sup>2</sup>を貼付  
最初の4週間に減量の必要が生じた場合は20cm<sup>2</sup>  
を貼付(10週間を超えて継続投与しない)【禁】非喫煙者 妊娠又はその可能性のある婦人 授  
乳婦 不安定狭心症 急性期の心筋梗塞(発症後  
3ヵ月以内) 重篤な不整脈 経皮的冠動脈形成術  
直後 冠動脈バイパス術直後 脳血管障害回復初  
期 本剤成分過敏症

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状

## 禁煙補助剤

バレニクリン酒石酸塩 varenicline tartrate

チャンピックス Champix	ファイザー
	コード 薬価
錠(劇):0.5mg	[チャン01] 132.6
錠(劇):1.0mg	[チャン02] 237.4

【効】ニコチン依存症の喫煙者に対する禁煙補助

【用】第1～3日目は0.5mgを1日1回食後、第4～7日目は0.5mgを1日2回朝夕食後、第8日目以降は1mgを1日2回朝夕食後投与 投与期間は12週間 禁煙開始日1週間前に投与開始

【警】禁煙は治療の有無を問わず様々な症状を伴うことが報告されており、基礎疾患として有している精神疾患の悪化を伴うことがある 本剤との因果関係は明らかではないが、抑うつ気分、不安、焦燥、興奮、行動又は思考の変化、精神障害、気分変動、攻撃的行動、敵意、自殺念慮及び自殺が報告 患者の状態を十分観察

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】多形紅斑 血管浮腫 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)

【備考】<sub>4</sub> <sub>2</sub>ニコチン受容体部分作動薬

## 整腸剤

宮入菌

ミヤ BM Miya-BM	ミヤリサン
	コード 薬価
細粒:1g/包	[ミヤビ01] 6.3/g

【効】腸内菌叢の異常による諸症状の改善

【用】1日1.5～3gを3回に分服(適宜増減)

【備考】酪酸菌 成分:宮入菌 40mg/g

## 制吐剤 その他の制吐剤

アプレピタント aprepitant

**イメンド** Emend小野  
薬価

コード

Cap:80mg

[イメソ 01]

3,263.8

Cap:125mg

[イメソ 02]

4,774.7

【効】抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む)

【用】他の制吐剤との併用において、抗悪性腫瘍剤投与1日目は125mg、2日目以降は80mgを1日1回3日間を目安、5日間を越える有効性・安全性は未確立

【禁】本剤成分過敏症 **ピモジド**

【重大な副作用】穿孔性十二指腸潰瘍 アナフィラキシー反応 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)

【備考】選択的NK<sub>1</sub>受容体拮抗薬

## トキソイド・ワクチン類

沈降7価肺炎球菌結合型ワクチン

**プレベナー** Prevenarファイザー  
薬価

コード

水性懸濁皮下注(劇):0.5mL/シリンジ[フレハ 61]

【効】肺炎球菌(血清型4、6B、9V、14、18C、19F及び23F)による侵襲性感染症予防

【用】初回免疫:1回0.5mLずつを3回、27日間以上の間隔で皮下注 追加免疫:3回目接種から60日間以上間隔をおき1回

【禁】本剤成分又はジフテリアトキソイドに**アナフィラキシー 発熱 重篤な急性疾患 予防接種を行うことが不適當な状態**

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様反応 痙攣

【備考】無毒性変異ジフテリア毒素結合体